



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 共立メンテナンス  
 コード番号 9616 URL <http://www.kyoritsugroup.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 充孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 上田 卓味  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5295-7778

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	76,693	8.7	5,532	20.3	5,080	34.4	2,956	46.2
25年3月期第3四半期	70,546	8.3	4,598	10.9	3,781	24.7	2,021	59.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,338百万円 (59.4%) 25年3月期第3四半期 2,094百万円 (79.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	223.18	220.25
25年3月期第3四半期	143.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	132,240	33,850	25.6	2,596.34
25年3月期	122,259	34,782	28.4	2,465.00

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 33,850百万円 25年3月期 34,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	19.00	—	24.00	43.00
26年3月期	—	21.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,200	6.8	7,400	13.5	6,600	17.9	3,600	12.3	276.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	15,125,582 株	25年3月期	15,125,582 株
26年3月期3Q	2,087,886 株	25年3月期	1,014,894 株
26年3月期3Q	13,244,880 株	25年3月期3Q	14,111,559 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策及び金融政策を背景にした株高の進行や円安基調の定着などにより景気回復の兆しはあるものの、円安による原材料価格の高騰や世界経済の減速懸念など依然不確実な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間は、主力事業である寮事業において、期初稼働率97.0%（前年比0.5ポイント増）と好調にスタートし、また、ホテル事業につきましても、ドリーミン（ビジネスホテル）事業、リゾート（リゾートホテル）事業共に、前年同期を上回る高稼働率にて極めて好調に推移し、引続き大きな牽引役となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高76,693百万円（前年同期比8.7%増）となり、営業利益5,532百万円（前年同期比20.3%増）、経常利益5,080百万円（前年同期比34.4%増）、四半期純利益2,956百万円（前年同期比46.2%増）と大幅な増収増益となり、過去最高益を更新しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①寮事業

寮事業では、期初稼働率97.0%（前年比0.5ポイント増）と前期を上回り堅調に推移し、12月末現在の稼働契約数は29,481名（前年同期に比べ1,173名増）となりました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間においては、前年同期に比べ新入寮生の3月早期入寮の増加及び前年同期に大口の留学生法人契約があり、契約金等の売上が期間比較にて減少したため、寮事業の売上高は微増にとどまっております。この結果、売上高は30,112百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益につきましては、新規開業費用及び水道光熱費の上昇や長期展望を見据えた計画的な修繕の先行実施に伴う費用等の増加を吸収しつつ、3,631百万円（前年同期比1.6%減）となり、ほぼ前期水準をキャッチアップいたしました。この利益水準は当初計画通りの推移であります。

#### ②ホテル事業

ドリーミン事業では、当第3四半期連結累計期間に『天然温泉 茶月の湯 ドリーミンEXPRESS掛川』『天然温泉 夕霧の湯 ドリーミンPREMIUMなんば』を新規オープンいたしました。また、前期オープンの事業所において、認知度の上昇やインバウンド営業も功を奏した結果、大幅に稼働率が向上し、全体として前年同期を上回って極めて好調に推移いたしました。

リゾート事業では、当第3四半期連結累計期間において『いにしへの宿 伊久』を新規オープンいたしました。また、既存事業所におきましてはきめ細やかな営業が功を奏し、夏のリゾートシーズンのみならず年末に向けても好調を維持し、第3四半期連結累計期間全体を通して、前期を上回る稼働率にて推移いたしました。

この結果、売上高33,188百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益3,775百万円（前年同期比35.5%増）となり、依然として大幅な増収増益基調を推し進めております。

#### ③総合ビルマネジメント事業

総合ビルマネジメント事業では、前期における所有物件売却に伴う賃貸収入の減少及び建設施工工事部門において受注減少となりました。この結果、売上高8,335百万円（前年同期比15.1%減）、営業損失12百万円（前年同期に比べ28百万円増益）となりました。

#### ④フーズ事業

フーズ事業では、依然厳しい環境ではありますが、個人消費環境の回復を受け緩やかながらも回復の兆しを見せつつあります。また、行田市と係争中のため営業を停止している温浴施設につきまして、9月に勝訴判決が出たものの行田市が控訴をしたため、9月以降の営業費用を営業外費用にて計上しております。この結果、売上高3,888百万円（前年同期比5.2%増）、営業損失41百万円（前年同期に比べ48百万円増益）となりました。

#### ⑤デベロップメント事業

デベロップメント事業では、当第3四半期連結累計期間において、総合受注型の開発増加に伴い売上高は増加いたしました。また、工事費等の費用も高騰いたしました。この結果、売上高は3,813百万円（前年同期比152.6%増）となり、営業利益は61百万円（前年同期に比べ91百万円増益）となりました。

⑥その他事業

その他事業は、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業であります。これらの事業の合計は、売上高5,206百万円（前年同期比35.5%増）、営業損失283百万円（前年同期に比べ4百万円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、132,240百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,980百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加などによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、98,390百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,913百万円の増加となりました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の増加などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、33,850百万円となり、前連結会計年度末に比べ932百万円の減少となりました。主な要因は、自己株式の取得及び利益剰余金の増加などによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.6%となり、前連結会計年度末に比べ2.8ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」で上方修正いたしました通期の連結業績予想に現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,622	26,178
受取手形及び売掛金	6,480	4,236
販売用不動産	302	213
仕掛販売用不動産	914	2,093
未成工事支出金	14	82
その他	5,551	6,037
貸倒引当金	△32	△26
流動資産合計	30,852	38,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,276	30,527
土地	24,426	24,651
その他（純額）	4,629	3,738
有形固定資産合計	58,332	58,917
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	5,818	5,958
差入保証金	10,745	11,426
敷金	9,063	9,333
その他	5,632	6,022
貸倒引当金	△207	△204
投資その他の資産合計	31,052	32,535
固定資産合計	91,335	93,334
繰延資産	71	91
資産合計	122,259	132,240

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,174	2,745
短期借入金	14,074	20,434
1年内償還予定の社債	1,150	1,150
未払法人税等	1,528	1,033
前受金	10,880	8,155
賞与引当金	1,029	692
役員賞与引当金	232	224
完成工事補償引当金	11	11
その他	5,811	5,045
流動負債合計	38,892	39,492
固定負債		
社債	7,450	6,550
転換社債型新株予約権付社債	—	15,000
長期借入金	34,976	31,363
退職給付引当金	1,201	1,264
役員退職慰労引当金	309	311
ポイント引当金	—	10
その他	4,647	4,398
固定負債合計	48,584	58,898
負債合計	87,476	98,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,136	5,136
資本剰余金	5,943	5,943
利益剰余金	25,675	28,019
自己株式	△1,811	△5,470
株主資本合計	34,943	33,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△198	107
為替換算調整勘定	37	114
その他の包括利益累計額合計	△160	222
純資産合計	34,782	33,850
負債純資産合計	122,259	132,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	70,546	76,693
売上原価	56,340	60,953
売上総利益	14,206	15,740
販売費及び一般管理費	9,607	10,207
営業利益	4,598	5,532
営業外収益		
受取利息	58	69
受取配当金	31	38
為替差益	56	295
その他	183	174
営業外収益合計	329	578
営業外費用		
支払利息	945	801
その他	201	229
営業外費用合計	1,146	1,030
経常利益	3,781	5,080
特別利益		
固定資産売却益	236	—
受取補償金	—	31
その他	15	—
特別利益合計	252	31
特別損失		
減損損失	153	—
解体撤去費用	—	13
その他	84	—
特別損失合計	237	13
税金等調整前四半期純利益	3,796	5,098
法人税等	1,774	2,142
少数株主損益調整前四半期純利益	2,021	2,956
四半期純利益	2,021	2,956

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,021	2,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	306
為替換算調整勘定	—	76
その他の包括利益合計	73	382
四半期包括利益	2,094	3,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,094	3,338
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年5月20日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得及び単元未満株式の買取等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,659百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は、5,470百万円となりました。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	29,216	29,672	5,751	1,130	1,213	66,984	3,562	70,546	—	70,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88	63	4,065	2,565	296	7,079	279	7,358	△7,358	—
計	29,304	29,736	9,816	3,696	1,509	74,064	3,841	77,905	△7,358	70,546
セグメント利益 又は損失(△)	3,690	2,787	△40	△89	△30	6,317	△288	6,028	△1,430	4,598

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,430百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,405百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フーズ」セグメントにおいて、収益性の低下により投資額の回収が困難と見込まれた外食店舗について、当該外食店舗の資産グループの帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては87百万円であります。

「その他」セグメントに含まれるウェルネスライフ事業において、収益性の低下により投資額の回収が困難と見込まれた施設について、当該施設の資産グループの帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては65百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	29,989	33,125	5,315	1,152	2,174	71,757	4,936	76,693	—	76,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	63	3,020	2,735	1,638	7,581	270	7,852	△7,852	—
計	30,112	33,188	8,335	3,888	3,813	79,339	5,206	84,545	△7,852	76,693
セグメント利益 又は損失（△）	3,631	3,775	△12	△41	61	7,414	△283	7,131	△1,598	5,532

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,598百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,573百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。